

安全運転アドバイス

シニアドライバーの事故防止編

自動車事故の統計をみると、65歳以上の方の事故率が上昇しています。(注1)

また、事故の発生場所にも次のような特徴が表れています。

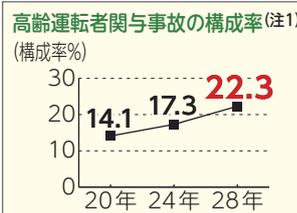
シニアドライバーによる自動車事故(注2)の80%以上が、

駐車場・構内

単路・直線道路

信号がある交差点

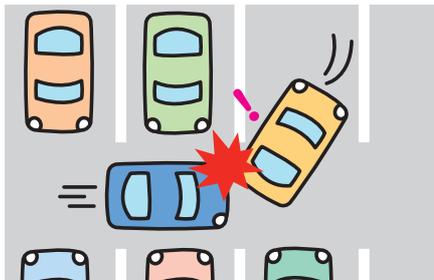
で発生



駐車場・構内における事故

シニアドライバー
事故の

39.2%



⚠️ 特に注意:バック時の事故

👉 主な原因:安全不確認、視力の低下 等

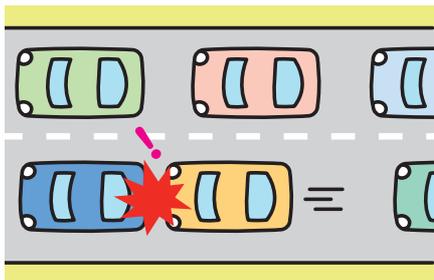
事故防止のポイント

- ・ミラーやバックモニターだけに頼らず、目視で安全確認を実施。
- ・ゆっくりと歩くくらいの速度でバック。
- ・見えないときは、いったん下車して安全確認を実施。
- ・窓を開けて、車の音や歩行者の音が聞こえるようにしておく。

単路・直線道路における事故

シニアドライバー
事故の

27.8%



⚠️ 特に注意:追突事故

👉 主な原因:前方不注視、身体機能の低下 等

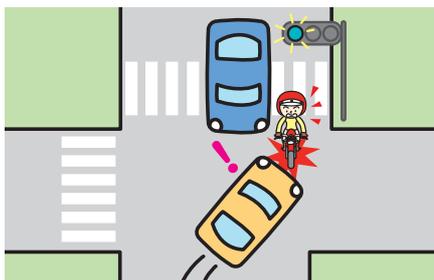
事故防止のポイント

- ・前の車の不意な減速・停止を予測しながら運転。
- ・急ブレーキで停止をしなくてすむよう、常に十分な車間距離を保持。
- ・渋滞など低速で走行中であっても、しっかり集中。

信号がある交差点における事故

シニアドライバー
事故の

13.1%



⚠️ 特に注意:右左折時の事故

👉 主な原因:安全不確認、判断能力の低下 等

事故防止のポイント

- ・対向直進車との距離を見誤り衝突しないよう、右折の際は無理せず「待ち」の姿勢で。
- ・対向車に道を譲られたときも、対向車の陰に隠れた二輪車や横断歩行者を見落とさないように注意をしたうえで右折。

(注1) 警視庁交通総務課統計「高齢者が関与した交通事故発生状況(平成28年中)」より総件数に占める高齢運転者関与事故の構成率

(注2) 当社自動車保険において、60歳以上の記名被保険者による自動車の運転に関して保険金をお支払いした事故(平成28年度)

シニアドライバーの皆さまに事故が多い原因

日ごろ、こんなことはありませんか？ 身体機能低下のサイン

check 運転するとすぐに疲れる



check 急ブレーキをよく踏む



check 標識をたまに見落としてしまう



check いつも通る道順を忘れることがある



チェックが付いたら身体機能低下のサインです。

加齢に伴って、身体機能は徐々に低下していき、運転行動にさまざまな影響を及ぼします。ご自身の身体機能の低下を認識し、今まで以上に安全運転に努めましょう。

⚠ 判断の誤り等による **逆走事故** が多発しています

高速道路のサービスエリアやインターチェンジにおける逆走事故は、全体の約7割をシニアドライバーが占めています。逆走事故は死傷事故につながる危険性も高いことから、もし逆走していることに気づいたら速やかに車を路肩に止め、道路緊急ダイヤルへ連絡し指示を待ちましょう。



『GK 見守るクルマの保険』では、専用車載器*と専用アプリをご利用いただくことによって、身体機能の低下に伴い不安を感じるシニアドライバーを、様々なアラートやサービスでサポートします。

*専用車載器とは『GK 見守るクルマの保険』専用のテレマティクス端末をいいます。

🚗 運転中 - 安全運転支援アラート -

ふらつきや発生や高速道路の逆走、設定した区域外の走行等に対してアラートで注意喚起を行うことで安全運転をサポートします。*アラートの音声はイメージです。実際の音声と異なる場合があります。

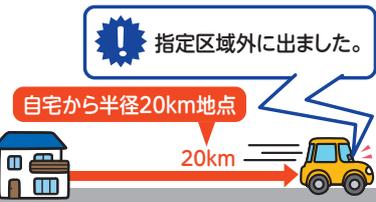
ふらつき発生時の注意喚起アラート



業界初 高速道路 逆走注意アラート



業界初 指定区域外走行アラート



🏠 運転後

- 運転診断レポート -

運転診断レポートによりご自身の運転の傾向をチェックできます。

